

G3 のツイッター その6

烈剛河内 竹井 保満

パワーリフティングのおかげで、この歳になっていろいろと活動ができることに本当に感謝しています。去る8月15日から18日まで兵庫県の明石市で、全日本マスターズのウェイトリフティング大会があり、M85～M90で出場しナンバーワンでなくオンリーワンで優勝できました。

この大会で、1964年の東京オリンピック、4年後のメキシコオリンピックと連続で金メダルに輝いた、重量挙げの三宅義信さんと競技ができました。写真を撮ったり、話を聞いたりと光栄に浴しました。三宅選手の25歳のオリンピックの記録は、スナッチが122.5kgの大記録でしたが、現在は、75歳を迎えられ、今回は模範演技的な競技でしたから、記録は約三分の一の43kgでした。三宅さんは、久しく競技から離れておられたこと、年を取られたこともあるようです。アンチエイジングと、トレーニングを目標にしている私には良い勉強になりました。

この大会はマスターズの世界大会への選考会でもありましたから、上昇気流に乗っている私には、世界で競技に出られるキップが頂けると願っています。また、来月10月5日には金沢市で全日本陸上のマスターズの投擲競技が行われます。ここで優勝して来年フランスのリヨンで行われる世界陸上マスターズ大会に行きたいと思っています。

10月の下旬には、美術協会展を開催しますので、大車輪で大作に挑んでいます。爺さん婆さん71人の顔を日本画で描いています。団塊の世代の方々が後期高齢者に成られるのが近いにもかかわらず、為政者が手を拱いている風刺画です。美しい風景や花の絵を描き続けてきましたが、5～6年前から社会風刺画に変えました。来場者は600人くらいですが、励まして下さる方もおられて、つついその気になって絵筆を握り続けて居ります。

作家の三浦朱門さんの言葉をお借りすれば、「歳を取って心と体が健康であることは、経験が実に成りとても嬉しいことです。」と、私も多忙な老人ですが、幾つもの修羅場を潜り抜けてきたタフな精神と、登山やパワーリフティングで鍛えた体力のお蔭で、多少のさざ波は立つことはありますが、日々是好日、有難い事です。

若いパワーの皆さん、無茶なトレーニングで体を潰さないように、人生は長く楽しいですよ。